

「風見鶏の館」というのは 神戸市北野町にある いわゆる「異人館」の一つです 私は30年ぐらい前の2月に一回だけ行ったことがあります その日はこのあたりでは珍しく雪が降っていました 積雪こそありませんでしたが 雪が降るの中の「風見鶏の館」は 実に印象的な姿でした



これが完成した絵です



1、こういう洋館の画は 下絵をかなり丁寧に描いておいたほうが良いです 壁の縦の線は すべて紙の天地線と平行ですが 横の線 屋根の傾斜は すべて角度が異なります



4、建物は一カ所だけ一気に仕上げようとせず 全体を均等に仕上げていくように心がけます



2、空から塗ります あとで雪粒を描くので それが引き立つように 少し暗めに塗っておきます 手前の木々は「冬枯れ色」として 薄いブラウンで塗っておきます



5、木々の幹も少しずつ描いていきます まずは太い幹から 徐々に梢の細い枝を仕上げっていきます



3、太陽光は当たっていませんが 左側からの光線が強いと意識して描くと 立体感が表現できます



6、木々の細部 建物の細部を「気が済むまで」描いて一応終わりです 最後に「修正液」を使って 月粒を根気よく描いて完成です